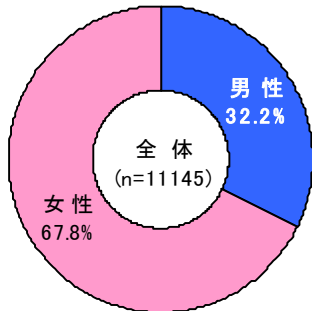


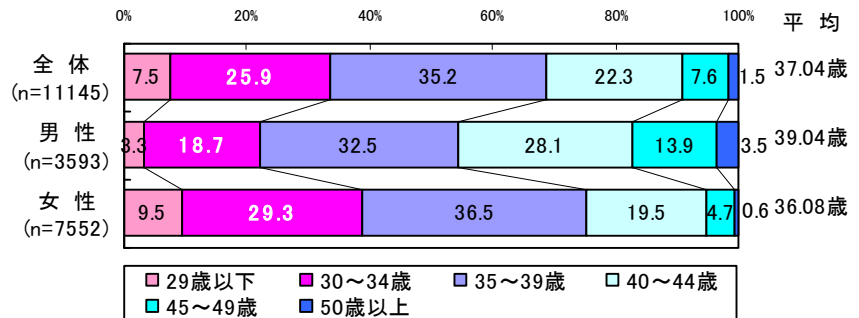
## 2. 調査対象の属性

- 回答者の性別は「男性」32.2%、「女性」67.8%で、女性が約7割を占めている。
- 回答者の年齢は「35～39歳」の割合が最も高く、平均年齢は「男性」39.04歳、「女性」36.08歳。
- 回答者の未婚は「既婚（有配偶）」が96.3%。
- 回答者の職業は、男性は「正社員」が86.3%、女性は「専業主婦、無職」が59.9%でそれぞれ最多。
- 世帯年収は「500万～600万円未満」が18.1%で最多。平均世帯年収は608.3万円。
- 居住地を地域ブロックで集計すると、「関東」38.9%、「近畿」18.4%、「中部」17.1%で、3大都市圏で7割強を占める。地域区別では「東京23区」は8.4%、「政令指定都市」は25.9%。

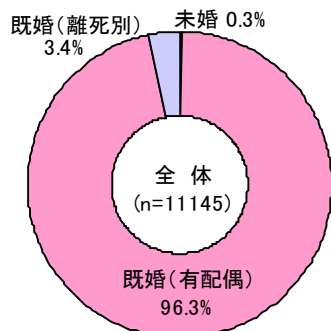
図表 2-1. 回答者の性別



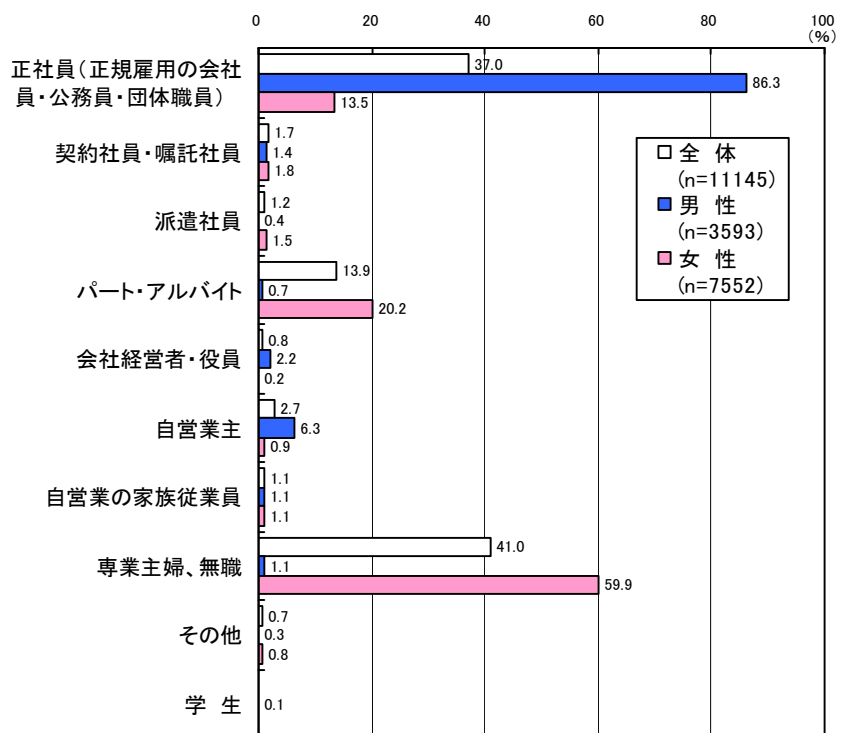
図表 2-2. 回答者の性別でみた年齢



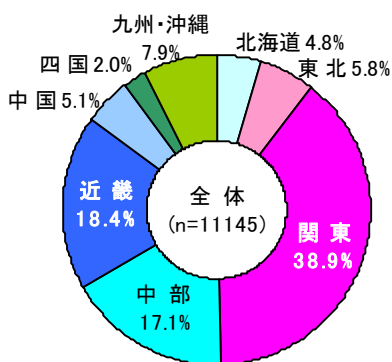
図表 2-3. 回答者の未婚



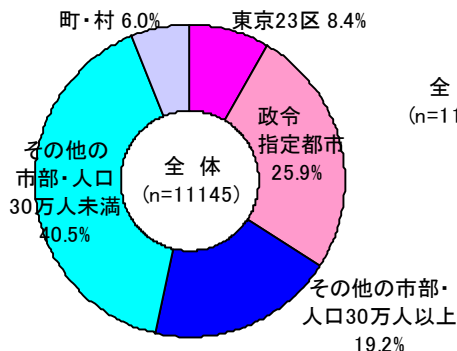
図表 2-4. 回答者の性別でみた職業



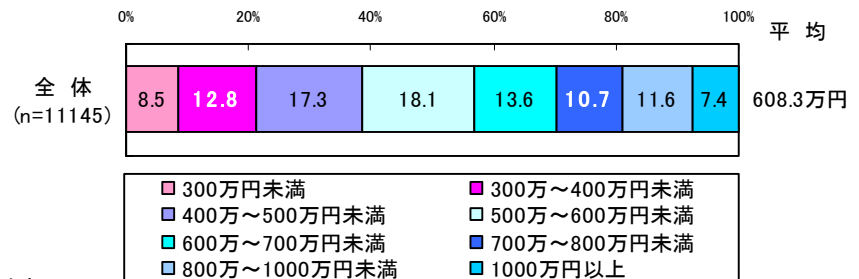
図表 2-6. 地域ブロック



図表 2-7. 地域区分



図表 2-5. 世帯年収



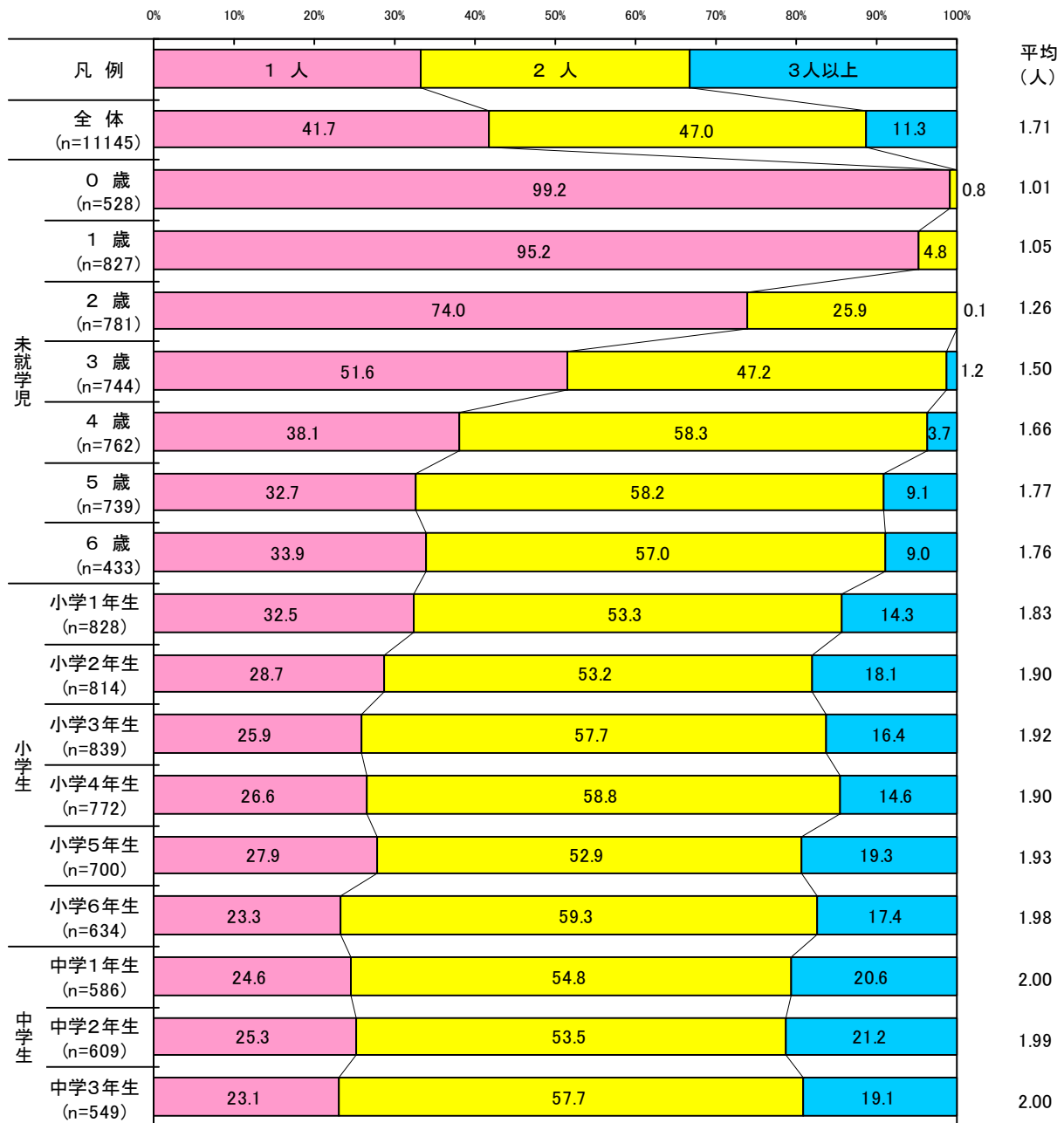
平均はカテゴリ中央値をウエイト値とした加重平均

### 3. 調査対象世帯の属性

#### (1) 第1子を含む子どもの人数

- 第1子を含む子どもの人数は、全体では「2人」が5割弱、「1人」が4割を占め、平均1.71人。
- 第1子が0～1歳の世帯では「1人」が9割以上、同2歳では7割強を占めるが、同4歳以上では「2人」が5割を超えるようになる。

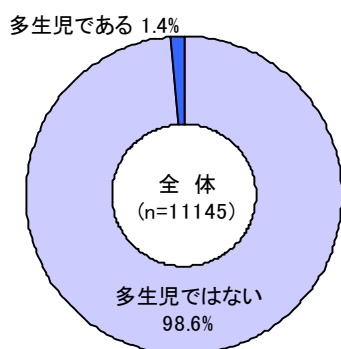
図表3-1-1. 第1子を含む子どもの人数【第1子の年齢・学年別】



## (2) 子ども(第1子)の属性

- 第1子が多生児である割合は1.4%。内訳は「双子」が1.36%・152人、「三つ子以上」が0.04%・4人。
- 第1子の性別は、全体では男子51.0%、女子49.0%。第1子の年齢・学年別にみても男女比の割合はほぼ同じ。

図表3-2-1. 第1子が多生児の割合

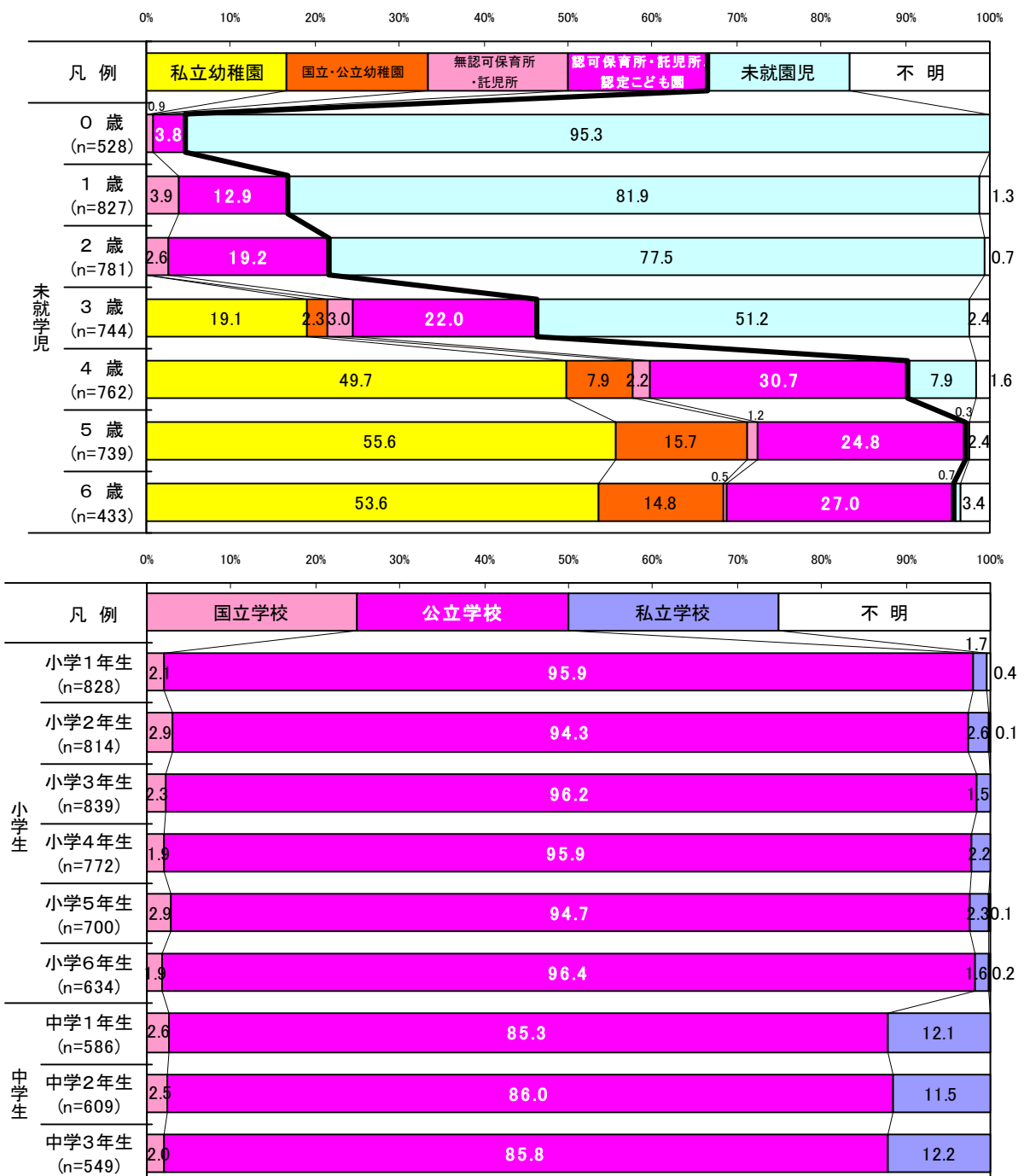


図表3-2-2. 第1子の性別【第1子の年齢・学年別】

		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
凡例		男子						女子					
全体(n=11145)		51.0						49.0					
未就学児	0歳(n=528)	50.0						50.0					
	1歳(n=827)	51.6						48.4					
	2歳(n=781)	51.6						48.4					
	3歳(n=744)	50.8						49.2					
	4歳(n=762)	51.8						48.2					
	5歳(n=739)	48.4						51.6					
	6歳(n=433)	49.7						50.3					
小学生	小学1年生(n=828)	47.5						52.5					
	小学2年生(n=814)	50.1						49.9					
	小学3年生(n=839)	50.2						49.8					
	小学4年生(n=772)	51.2						48.8					
	小学5年生(n=700)	53.3						46.7					
	小学6年生(n=634)	55.0						45.0					
中学生	中学1年生(n=586)	50.9						49.1					
	中学2年生(n=609)	55.2						44.8					
	中学3年生(n=549)	50.3						49.7					

- 0～2歳は「未就園児」が大半を占めるが、3歳では5割と減少。保育所・託児所や幼稚園等への通園率が増加する。
- 4歳では保育所・託児所や幼稚園等への通園率が9割となり、5～6歳ではほぼ全員に近くなる。
- 小・中学生の私立学校の割合は、小学生では1割未満、中学生では1割強を占める。

図表3-2-3. 第1子の学校種別・設置者【第1子の年齢・学年別】



- 課外クラブ活動の参加状況は、国立・公立幼稚園と小学1～3年生では「課外クラブ活動はしていない」が9割超。中学1～2年生になると「スポーツ系クラブに所属」が5割超、「文科系クラブに所属」も2割を占めるが、中学3年生は「課外クラブ活動はしていない」が5割を超えている。
- 校外諸活動の参加率が高いのは小学3～6年生で、「地域のスポーツ系クラブやチームに所属」している割合が他の層より高い。
- 「学習塾や公文教室、予備校に定期的に通っている」割合は小学5年生以上で高くなり、中学3年生では5割超。一方、「書道教室やそろばん教室に通っている」割合は小学2～5年生、「スイミングや空手や体操などのスポーツ系スクールに通っている」割合は小学1～4年生で高い。

図表3-2-4. 第1子の課外クラブ活動、校外諸活動、校外学習・習い事の参加状況【第1子の学齢・学年別】

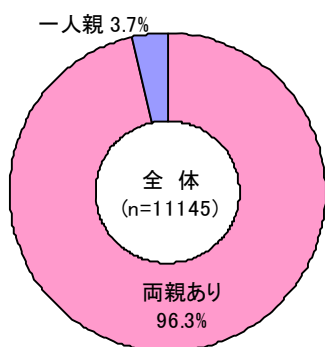
	全 体	幼稚園		小学生						中学生			
		公 立 幼 稚 園	私 立 幼 稚 園	小 学 1 年 生	小 学 2 年 生	小 学 3 年 生	小 学 4 年 生	小 学 5 年 生	小 学 6 年 生	中 学 1 年 生	中 学 2 年 生	中 学 3 年 生	
調査数	7,789	257	1,165	828	814	839	772	700	634	586	609	549	
課外 ク ラ ブ 活 動	幼稚園や学校のスポーツ系クラブに所属	20.7	4.3	19.2	4.8	5.5	9.7	17.9	22.0	18.9	<b>56.0</b>	<b>50.7</b>	<b>29.1</b>
	幼稚園や学校の文化系クラブに所属	10.1	1.6	8.1	2.1	2.0	2.6	<b>16.1</b>	12.1	12.8	<b>21.2</b>	<b>21.7</b>	<b>16.6</b>
	幼稚園や学校の課外クラブ活動はしていない	69.7	<b>94.2</b>	<b>75.3</b>	<b>93.5</b>	<b>93.0</b>	<b>88.3</b>	67.5	66.0	69.9	23.5	28.2	54.8
	無回答	0.5	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
校 外 諸 活 動	地域のスポーツ系クラブやチームに所属	16.1	5.1	5.5	12.8	18.1	<b>23.1</b>	<b>26.0</b>	<b>27.0</b>	<b>26.3</b>	9.9	10.8	8.7
	ボーイスカウト・ガールスカウトに所属	1.2	0.4	0.3	1.1	1.6	1.4	1.7	2.1	1.3	1.2	0.8	1.5
	地域の楽団や合唱団などに所属	1.1	0.8	0.4	0.6	1.1	1.3	1.2	1.7	1.9	0.9	1.6	1.3
	地域のボランティア活動に参加	1.7	1.2	0.5	1.2	1.6	1.9	2.3	1.7	1.9	2.6	1.6	3.6
	その他地域の活動に参加	2.1	1.2	0.2	3.5	2.8	3.1	2.2	3.4	2.8	1.9	1.1	0.5
	何もしていない	78.1	<b>91.4</b>	<b>93.5</b>	80.6	75.7	70.6	68.5	65.6	66.9	<b>84.1</b>	<b>84.4</b>	<b>85.2</b>
	無回答	0.5	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
校 外 学 習 ・ 習 い 事	学習塾や公文教室、予備校に定期的に通っている	24.1	4.3	4.9	13.0	16.3	18.0	22.8	<b>32.0</b>	<b>37.2</b>	<b>34.6</b>	<b>44.2</b>	<b>55.7</b>
	夏季・冬季講習など、期間限定の学習塾や講習会のみに参加	2.2	0.4	1.2	1.2	2.0	2.1	2.3	3.0	2.4	2.7	3.6	4.4
	家庭教師をつけている	1.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.4	0.3	1.0	1.6	1.9	2.6	4.0
	通信教育・教材学習をしている	32.6	18.3	27.6	36.6	<b>39.1</b>	36.9	35.4	33.0	32.2	34.6	29.9	27.1
	自宅で知育教材学習、英語教材学習をしている	5.6	<b>10.9</b>	8.3	5.3	6.0	8.5	5.2	3.9	5.2	3.2	2.6	2.6
	語学教室やパソコン教室に通っている	9.2	7.8	7.9	11.5	12.4	10.7	11.5	11.9	8.2	8.2	5.3	2.7
	書道教室やそろばん教室に通っている	13.1	3.1	2.0	10.9	15.4	<b>24.0</b>	<b>24.9</b>	<b>21.3</b>	15.9	11.8	7.1	3.3
	スイミングや空手や体操などのスポーツ系スクールに通っている	30.9	28.8	26.8	<b>40.8</b>	<b>47.5</b>	<b>45.5</b>	<b>43.3</b>	33.9	27.6	11.6	11.3	5.6
	バレエやダンスなど	5.1	7.0	5.4	8.0	7.2	5.2	4.8	5.6	3.9	2.2	3.1	3.1
	舞踊系の習い事をしている	17.9	12.1	15.5	19.1	20.8	<b>23.1</b>	22.0	22.1	15.6	14.0	14.3	12.6
	楽器演奏や歌など	17.9	12.1	15.5	19.1	20.8	<b>23.1</b>	22.0	22.1	15.6	14.0	14.3	12.6
	音楽系の習い事をしている	17.9	12.1	15.5	19.1	20.8	<b>23.1</b>	22.0	22.1	15.6	14.0	14.3	12.6
	絵画など	1.8	1.2	1.4	3.3	2.5	1.9	1.8	1.0	3.2	1.7	1.0	0.4
芸術系の習い事をしている	1.8	1.2	1.4	3.3	2.5	1.9	1.8	1.0	3.2	1.7	1.0	0.4	
その他の校外学習・習い事をしている	2.2	2.7	1.9	2.3	2.3	2.3	2.5	3.3	3.5	1.7	0.8	0.9	
何もしていない	20.0	<b>39.7</b>	<b>36.8</b>	17.8	15.0	13.0	14.6	13.9	16.9	21.2	19.7	16.6	
無回答	0.5	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	

太字斜体は全体より5ポイント以上、太字斜体+網掛けは全体より10ポイント以上上回る項目  
「幼稚園」の「国立・公立幼稚園」「私立幼稚園」項目で無回答が36名いたため、合計人数が一致しない

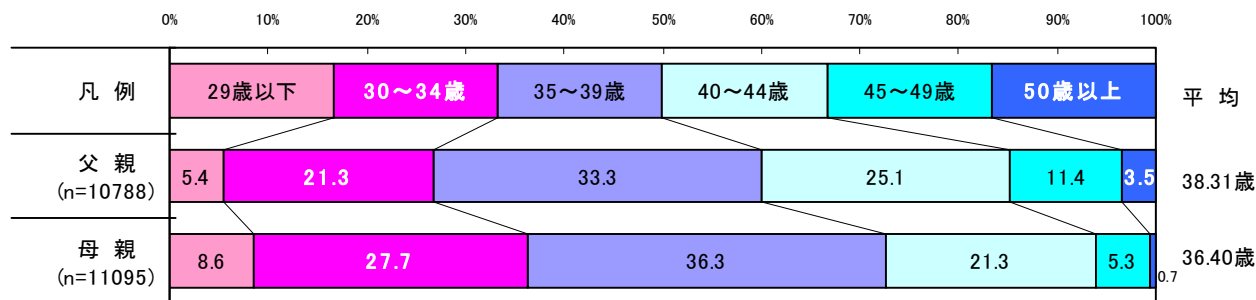
### (3) 親の属性

- 全体の96.3%は「両親あり」。
- 父親の年齢は「35～39歳」が最も多く、次いで「40～44歳」「30～34歳」の順。
- 母親の年齢は「35～39歳」が最も多く、次いで「30～34歳」「40～44歳」の順。
- 第1子の年齢・学年が高くなるにつれて、父親・母親の平均年齢も高くなっている。

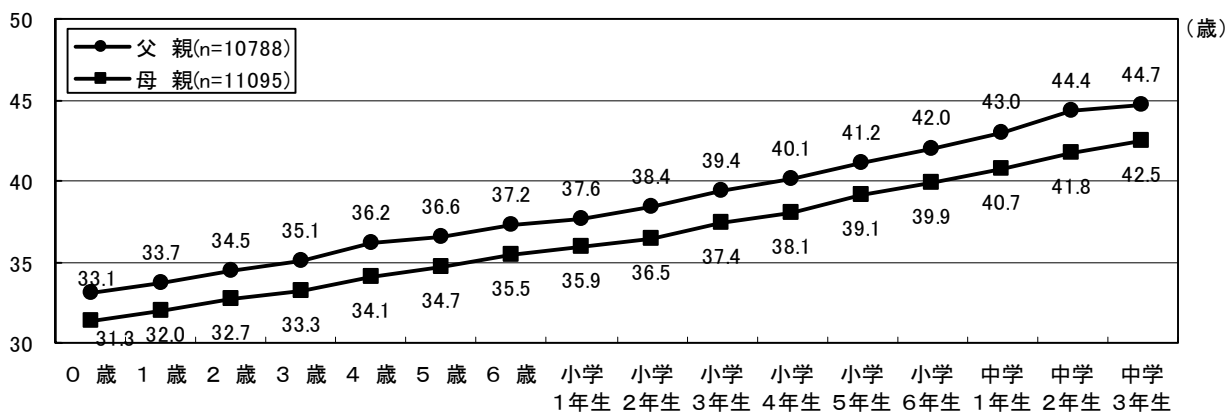
図表 3-3-1 . 親の状況



図表 3-3-2 . 父親と母親の年齢



図表 3-3-3 . 父親と母親の平均年齢【第1子の年齢・学年別】



- 父親の職業は、全体では「正規雇用」が8割。第1子の年齢・学年別にみても大きな差はない。
- 母親の職業は、全体では「無職、学生」が5割強。第1子が0～6歳までは「無職、学生」が6割を超える。
- 小学生以上になると、第1子の学年が高くなるにつれて母親の有職率も高くなる。ただし、「非正規雇用」の割合が高くなる。

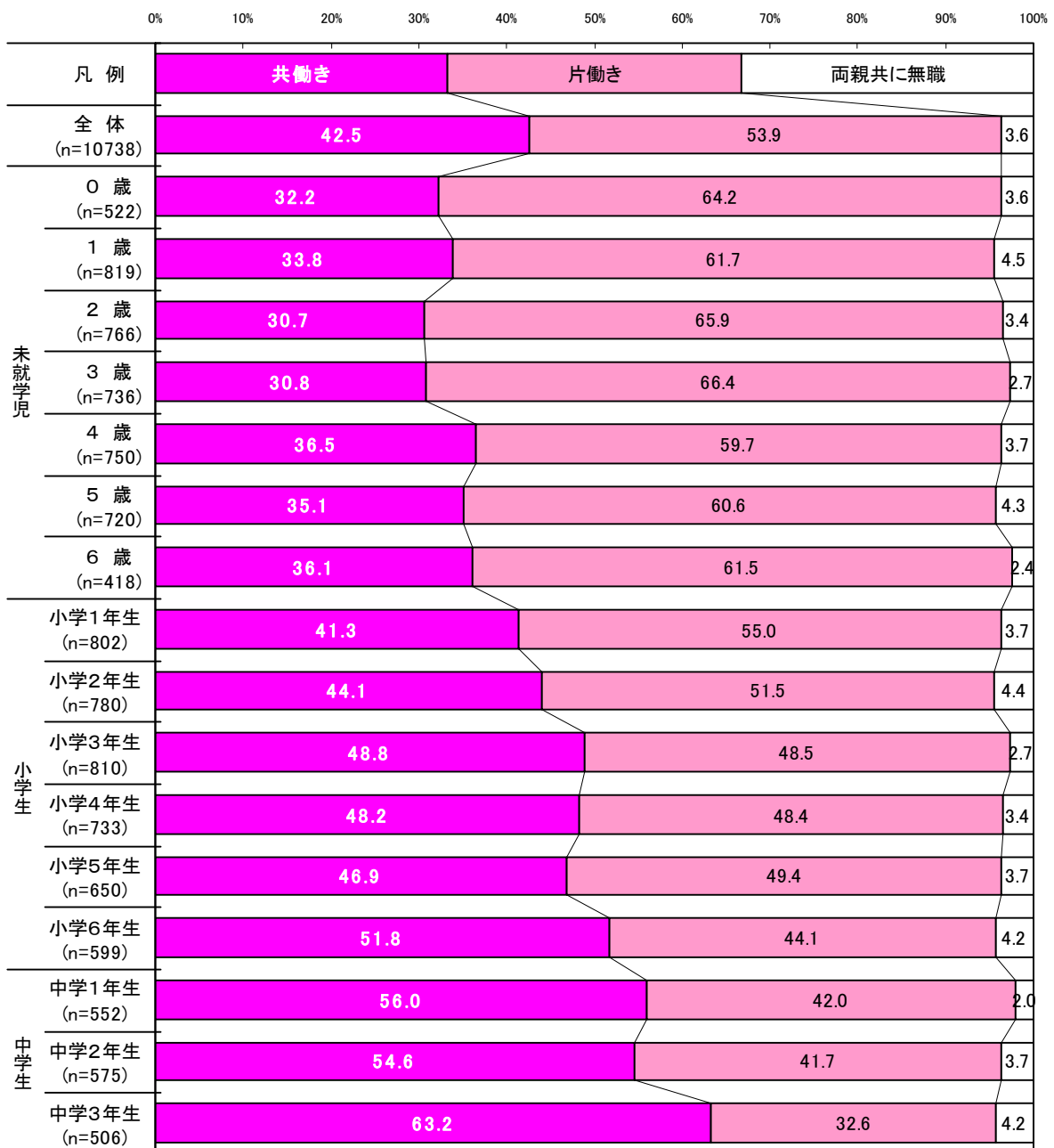
図表 3-3-4 . 父親と母親の職業【第1子の年齢・学年別】



「非正規雇用」の内訳は「契約社員・嘱託社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」。「その他」の内訳は「会社経営者・役員」「自営業主」「自営業の家族従業員」「その他職業」

- 全体では「共働き」が4割強、父親か母親のどちらかの「片働き」が5割強を占める。
- 第1子の年齢・学年が高くなるにつれて、「共働き」の割合が増加。0～6歳では3割台、小学1～5年生では4割台、小学6年生以上では5割を超えるようになる。

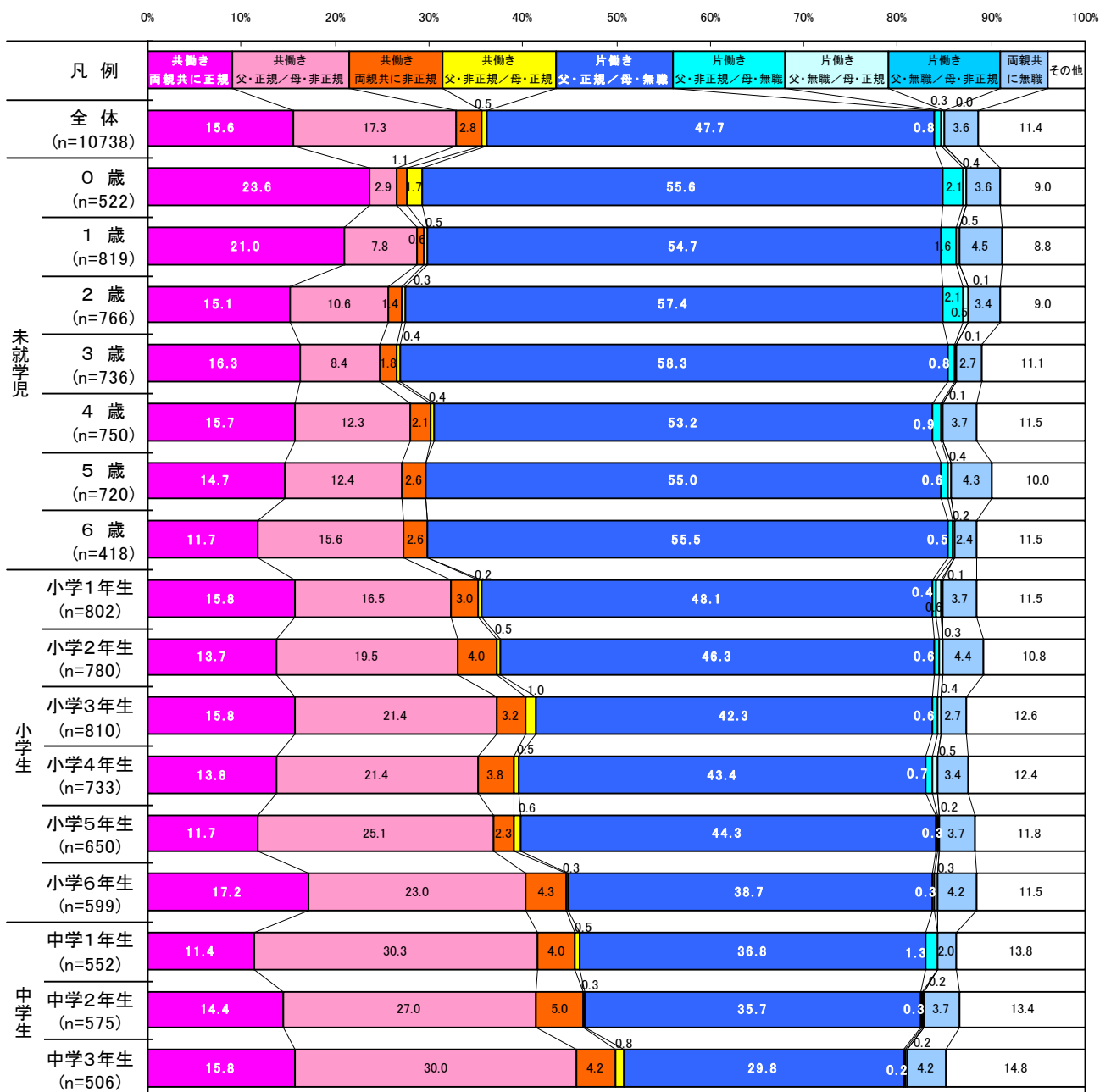
図表 3-3-5 . 両親の就労状況（両親ありのみ）【第1子の年齢・学年別】





- 共働きのうち、第1子が0～1歳では「両親共に正規雇用」が2割を超えているが、3歳以上では1割台。第1子の年齢・学年が高くなるほど「父・正規雇用/母・非正規雇用」の割合が高くなり、小学3～6年生で2割台、中学生で約3割となっている。
- 共働きで「両親とも非正規雇用」の割合は全体の2.8%。第1子の年齢・学年が高くなるほど、その割合も高くなる傾向がみられる。
- 片働きで「父・正規雇用/母・無職」の割合は全体の約5割を占める。

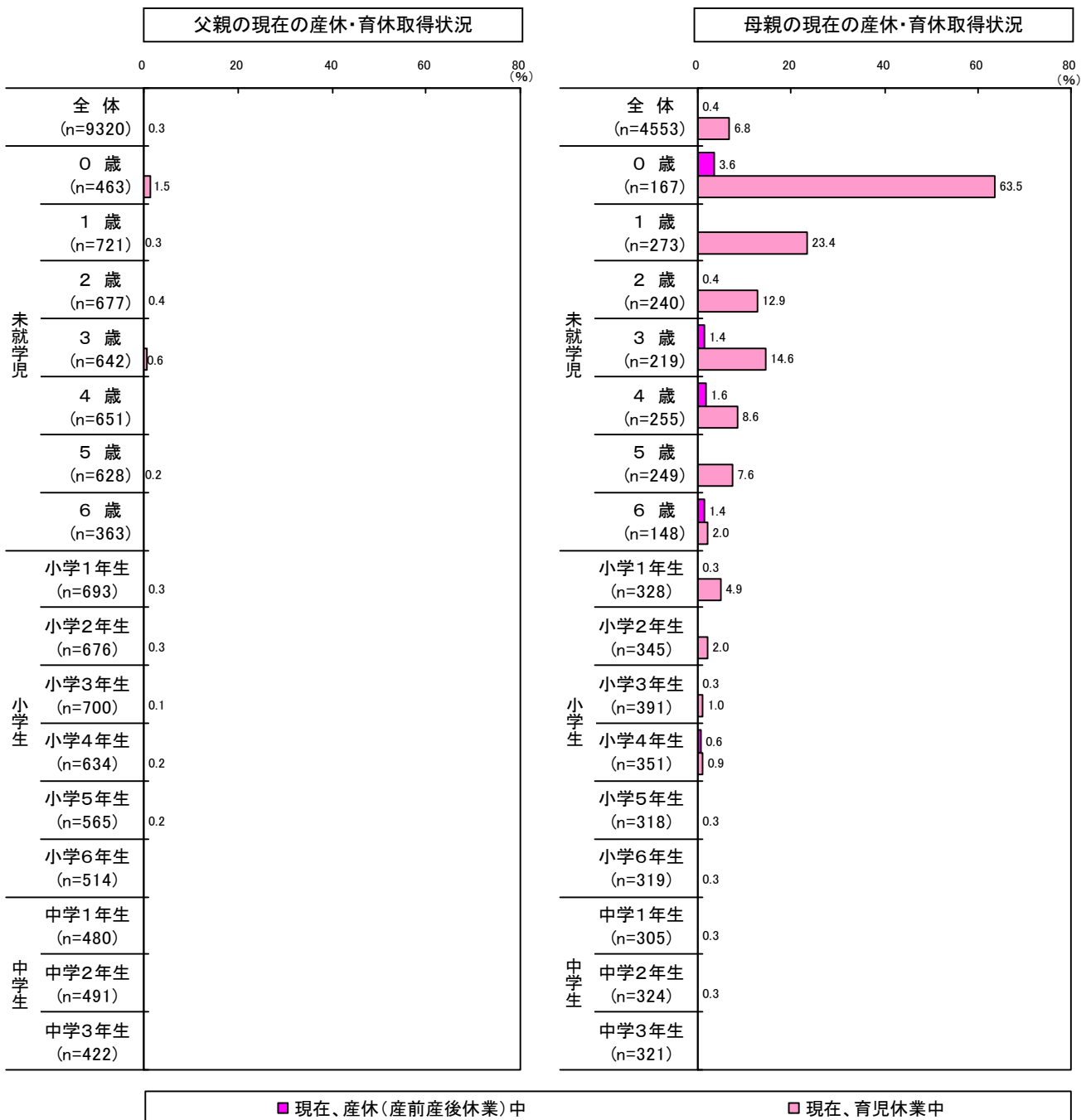
図表 3-3-6 . 両親の雇用のタイプ (両親ありのみ)【第1子の年齢・学年別】



「その他」は、両親共にまたはどちらかが「会社経営者・役員」「自営業主」「自営業の家族従業員」など

- 母親が現在、産休中である割合は、0歳で3.6%。
- 現在、育児休業中である割合は、0歳の場合、母親は63.5%と過半数を占めるが、父親はわずか1.5%にとどまっている。
- 母親は第1子が1～3歳の場合でも、1割強～2割強が育児休業を取得している。

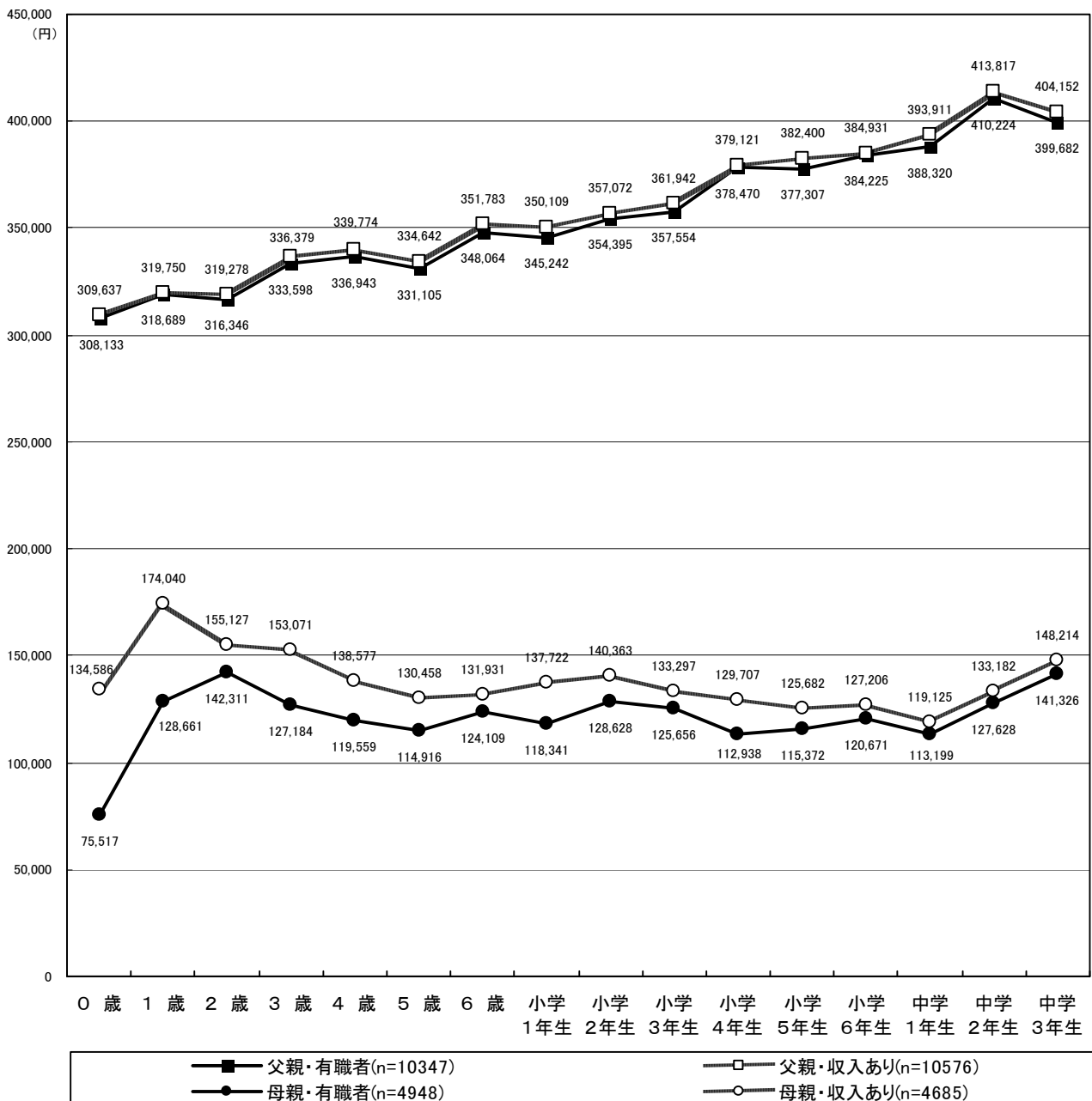
図表 3-3-7 . 父親と母親の現在の産休・育休取得状況（被雇用者のみ）【第1子の年齢・学年別】



第1子のためだけでなく、弟・妹のためを含む現在の産休・育休取得状況を示す

- 父親の平均月収はおおよそ 30 万円台だが、母親の平均月収は 10 万円台。
- 第 1 子の年齢・学年が高くなるにつれて、父親の平均月収はわずかずつだが高くなる。一方、母親は 0 歳を除くと年齢・学年別での平均月収の差は少ない。

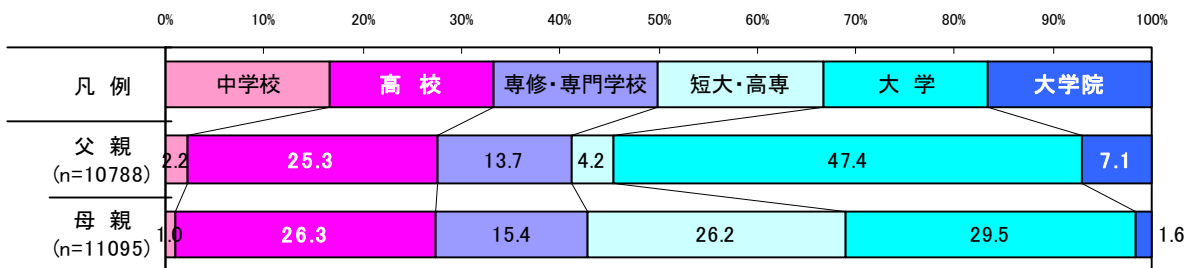
図表 3-3-8 . 父親と母親の平均月収 (平成 21 年 10 月分)【第 1 子の年齢・学年別】



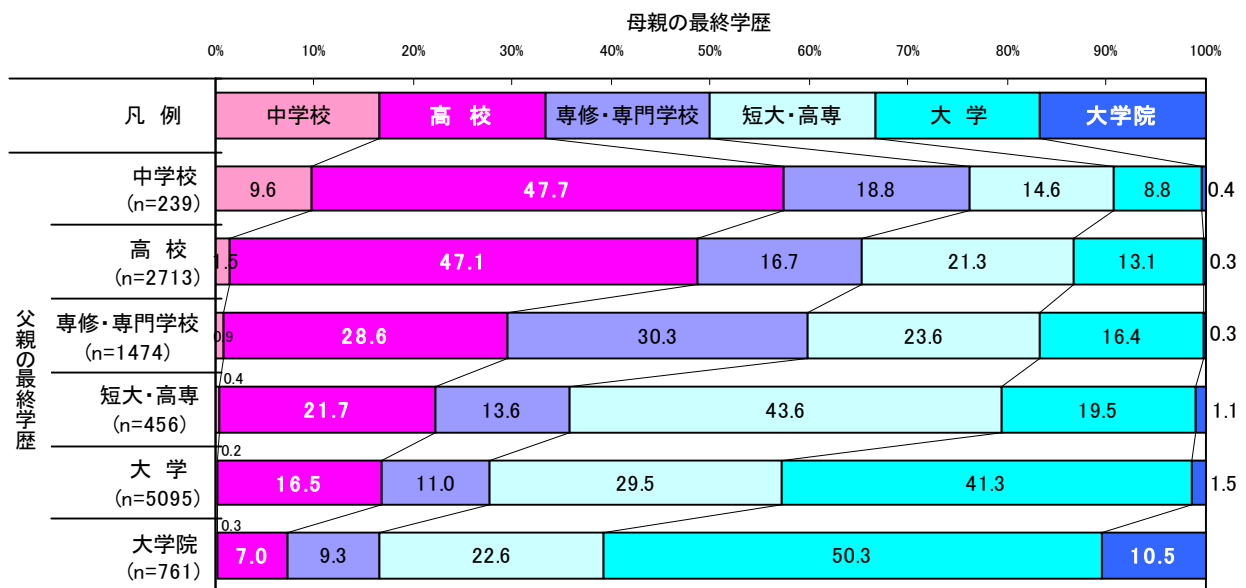
有職者は職業が「無職、学生」以外の人を対象に集計した平均値  
収入ありは職業の有無にかかわらず、平成 21 年 10 月に何らかの収入があった人を対象に集計した平均値

- 最終学歴は、父親は「大学」が最多で5割弱を占める。母親は「大学」が約3割、「短大・高専」が3割弱。
- 両親の最終学歴は「両親共に大学、大学院卒」が全体の24.6%で最も多く、次いで「父：大学、大学院卒 / 母：短大・高専、専修・専門学校卒」が21.5%となっている。

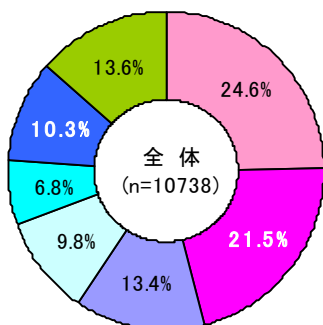
図表 3-3-9 . 父親と母親の最終学歴



図表 3-3-10 . 父親の最終学歴別にみた母親の最終学歴 (両親ありのみ)



図表 3-3-11 . 両親の最終学歴 (両親ありのみ)

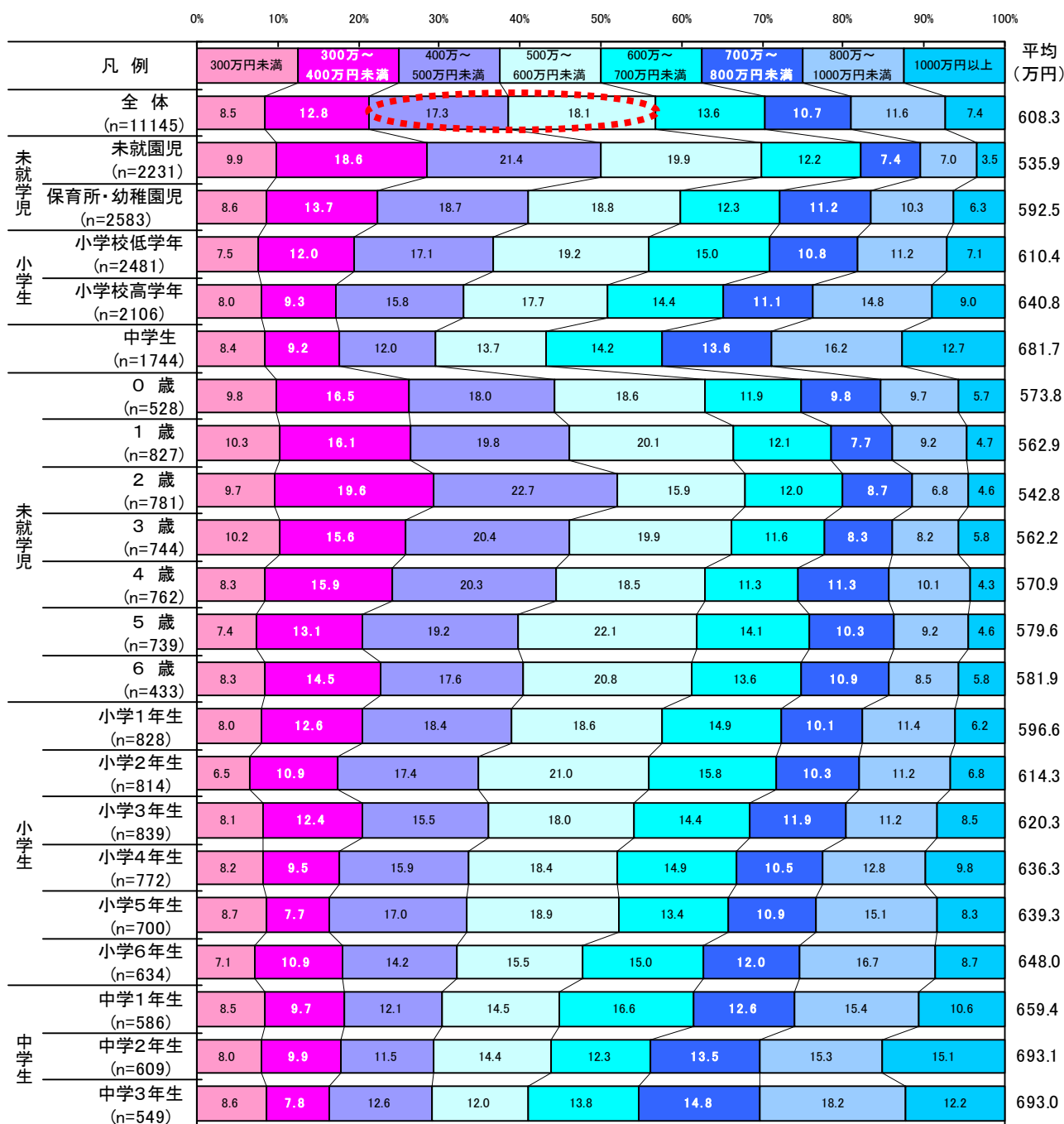


- 両親共に大学、大学院卒
- 父：大学、大学院卒 / 母：短大・高専、専修・専門学校卒
- 父：大学、大学院、短大・高専、専修・専門学校卒 / 母：高校、中学校卒
- 両親共に短大・高専、専修・専門学校卒
- 父：短大・高専、専修・専門学校、高校、中学校卒 / 母：大学、大学院卒
- 父：高校、中学校卒 / 母：短大・高専、専修・専門学校卒
- 両親共に高校、中学校卒

(4) 世帯年収

- 世帯年収は、全体では「500万～600万円未満」の割合が最多。次いで「400万～500万円未満」が続く。平均世帯年収は608.3万円。
- 第1子の年齢・学年が高くなるにつれて、700万円以上の割合が増加。平均世帯年収は小学2年生で600万円を超え、中学1年生で650万円を超えている。

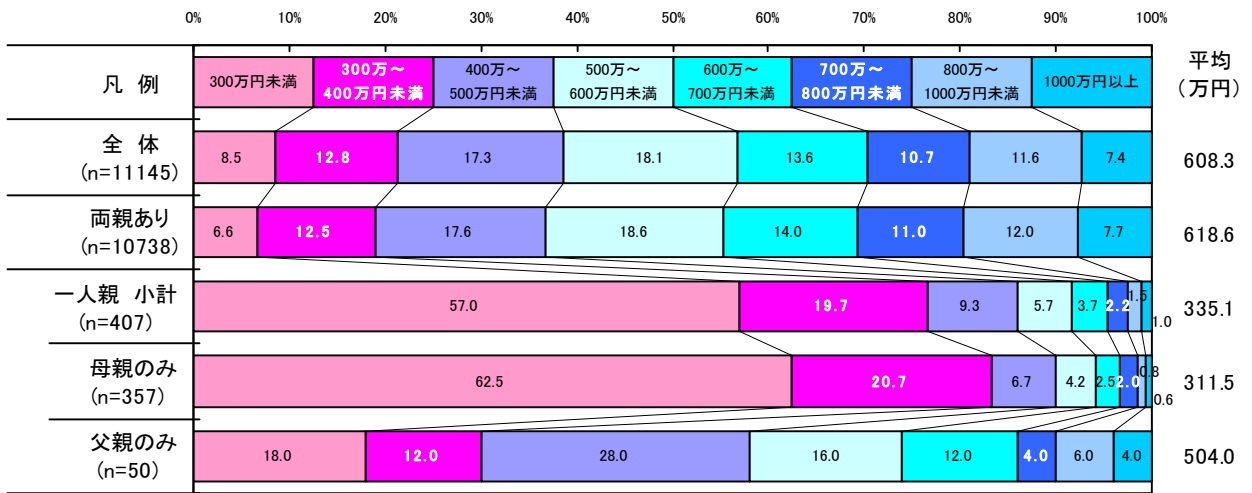
図表3-4-1. 世帯年収【第1子の年齢・学年別】



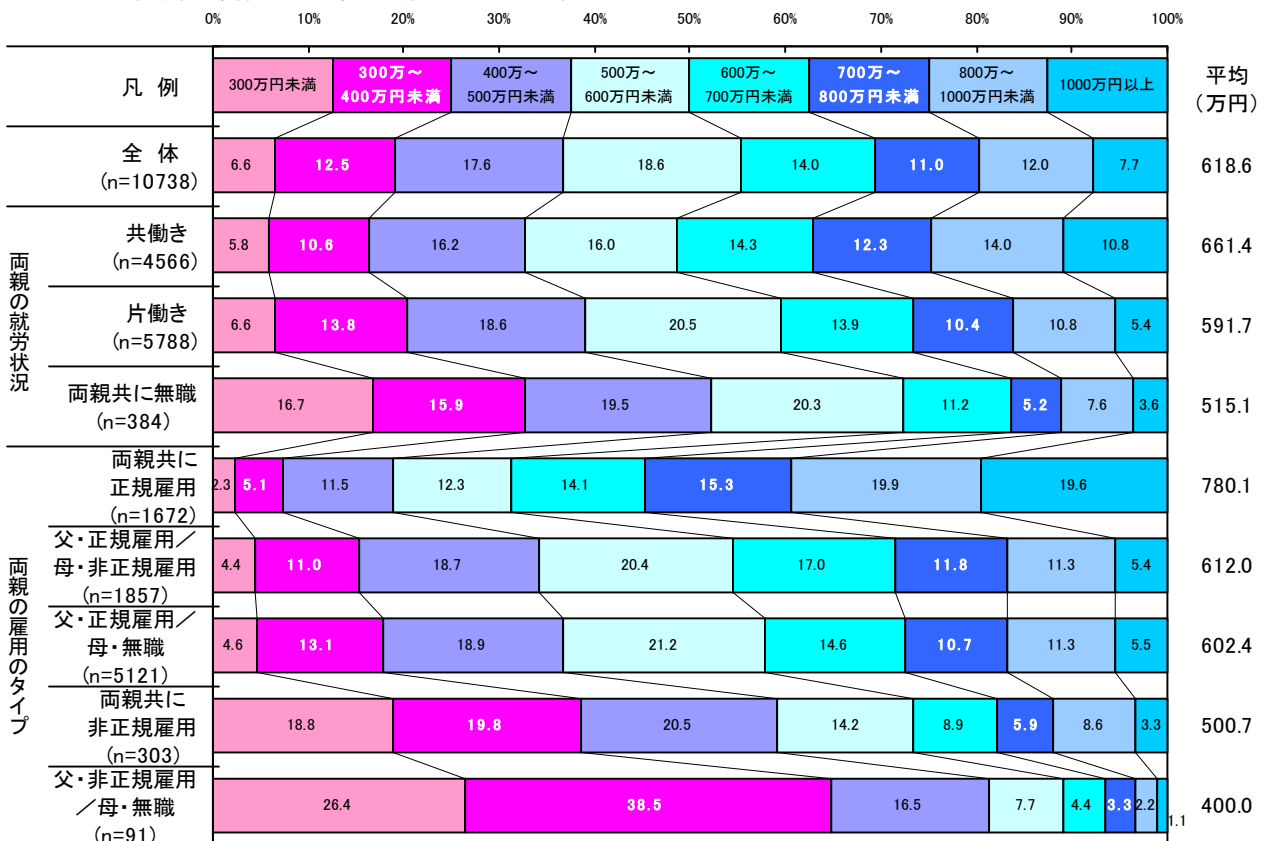
グラフ右の「平均 (万円)」は各世帯年収階級金額範囲の中央値 (例: 200万～300万円未満は250万円) をウエイト値として計算した加重平均であり、正確な平均世帯年収とは異なる (世帯年収階級の下限である「200万円未満」は200万円、上限の「2000万円以上」は2000万円をウエイト値とした)

- 一人親世帯の平均世帯年収は 335.1 万円で、両親あり世帯の 5 割程度と低い。特に母親のみ世帯が低い。
- 両親の就労状況別では、平均世帯年収は「共働き」で 661.4 万円、「片働き」で 591.7 万円とさほど大きな差はみられない。
- 両親の雇用のタイプ別にみた平均世帯年収は、「両親共に正規雇用」で 780.1 万円、「父・正規雇用 / 母・非正規雇用」で 612.0 万円、「両親共に非正規雇用」で 500.7 万円。

図表 3-4-2 . 世帯年収【親の状況別】

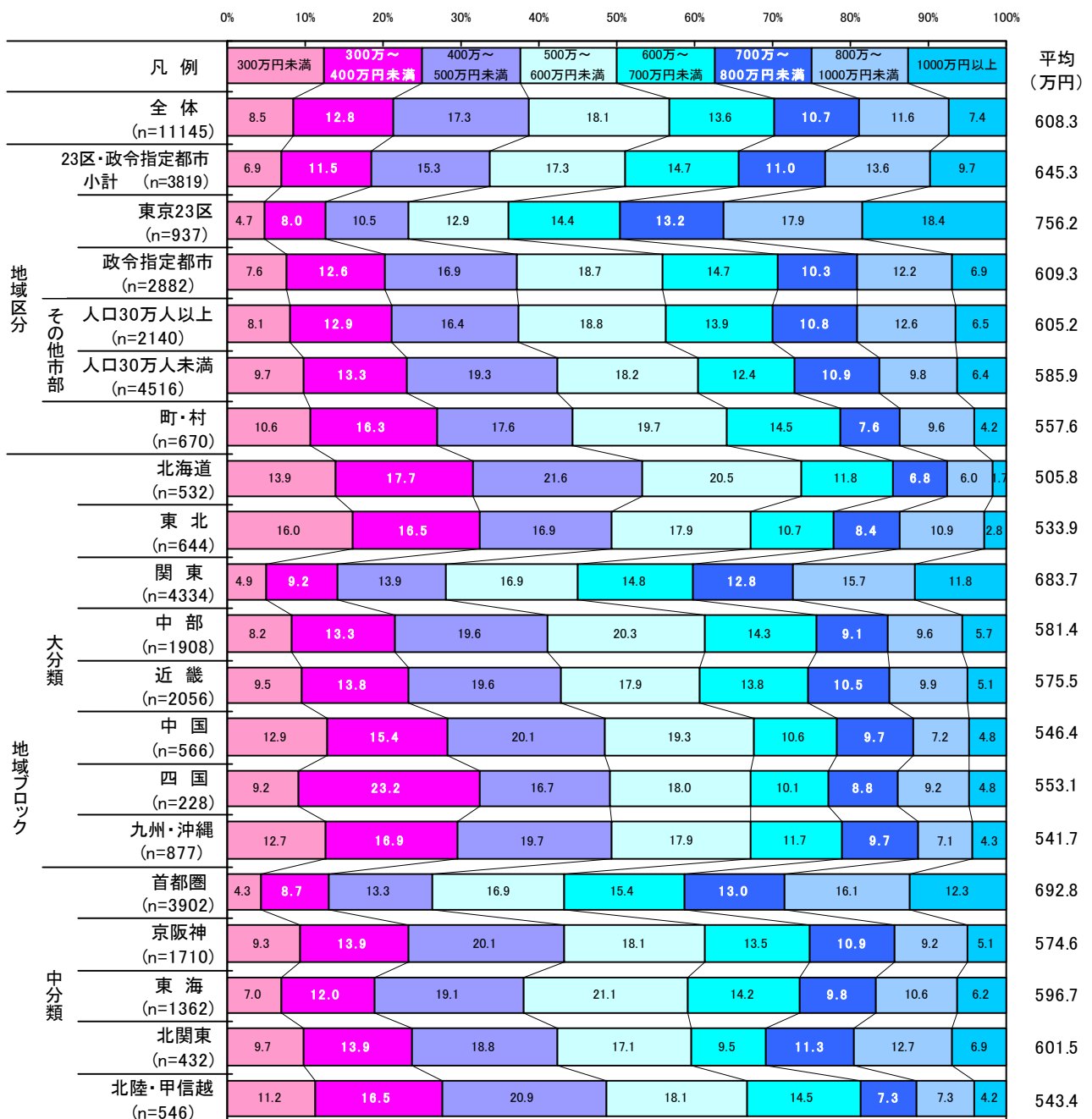


図表 3-4-3 . 世帯年収【両親の就労状況・雇用のタイプ別】



- 地域区別では、「東京 23 区」の平均世帯年収 756.2 万円が突出している。
- 地域ブロック・大分類別では、「関東」の平均世帯年収 687.3 万円が最も高い。次いで「中部」「近畿」が続く。
- 地域ブロック・中分類別では、「首都圏」の平均世帯年収 692.8 万円が最も高い。

図表 3-4-4 . 世帯年収【地域区分・地域ブロック別】

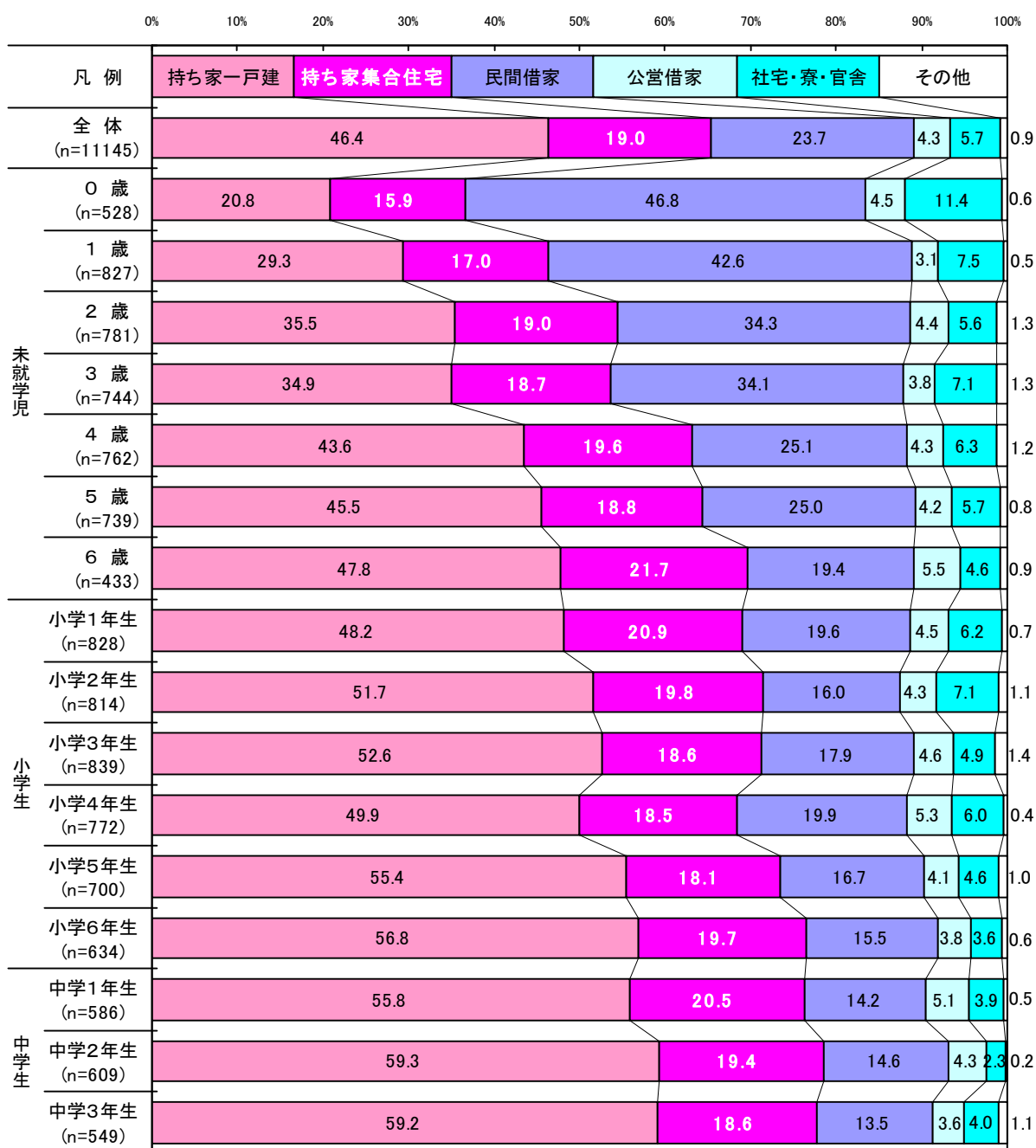


グラフ右の「平均(万円)」は各世帯年収階級の金額範囲の中央値(例: 200万円~300万円未満は250万円)をウエイト値として計算した加重平均であり、正確な平均世帯年収とは異なる(世帯年収階級の下限である「200万円未満」は200万円、上限の「2000万円以上」は2000万円をウエイト値とした)

(5) 住宅の状況

- 全体では「持ち家一戸建」が4割強、「民間借家」が2割強、「持ち家集合住宅」が約2割。
- 第1子の年齢・学年が高くなるにつれて「持ち家一戸建」の割合が増加し、「民間借家」の割合が減少。「持ち家集合住宅」の割合はほぼ一定している。

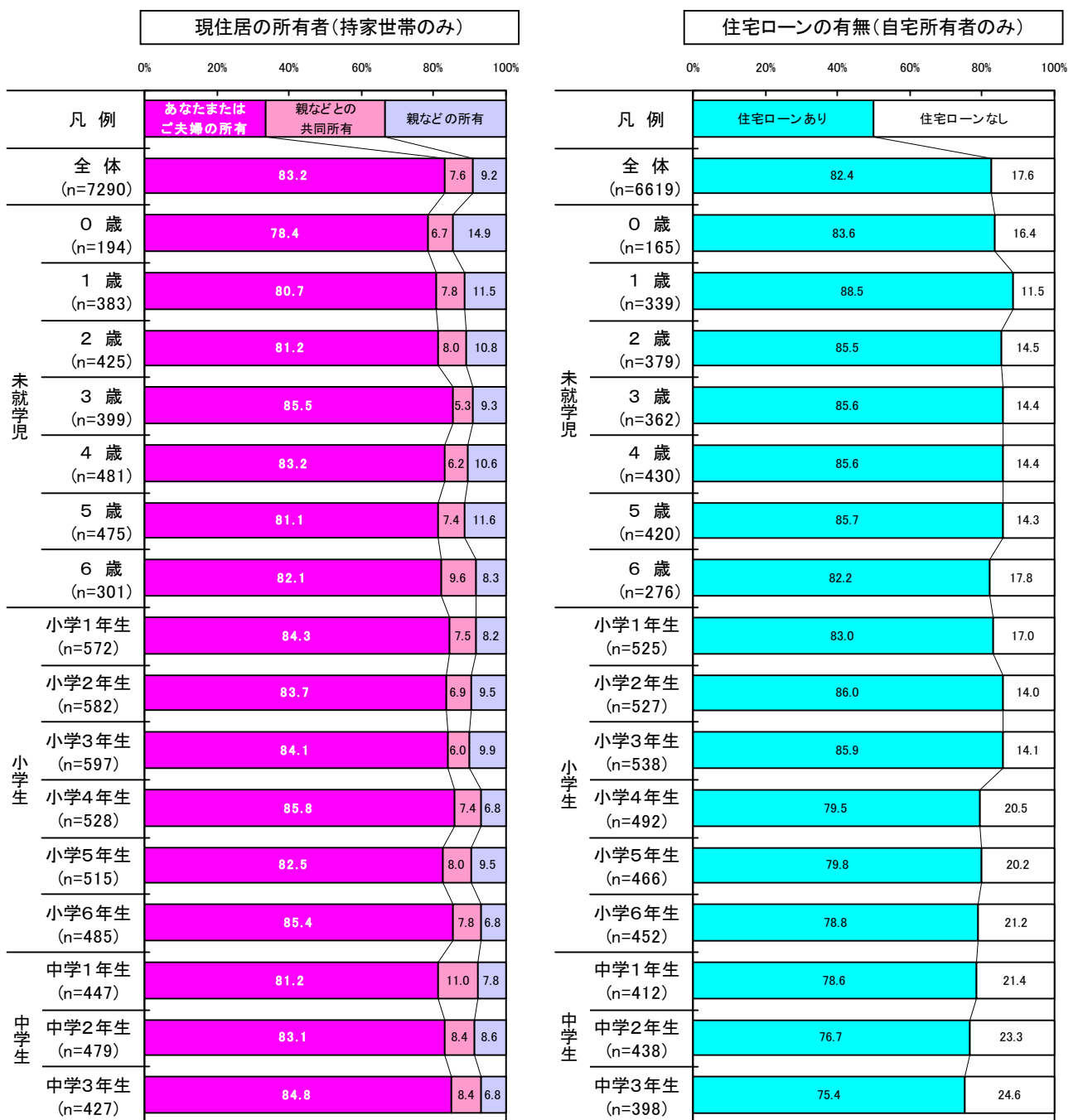
図表 3-5-1 . 現住居形態【第1子の年齢・学年別】





- 持ち家世帯における現住居の所有者は、全体では「あなたまたはご夫婦の所有」が8割強。第1子の年齢・学年別にみても、大きな差はない。
- 自宅所有者の住宅ローンの有無は、全体では「住宅ローンあり」が8割。第1子が小学4年生以上では「住宅ローンなし」が2割を超えている。

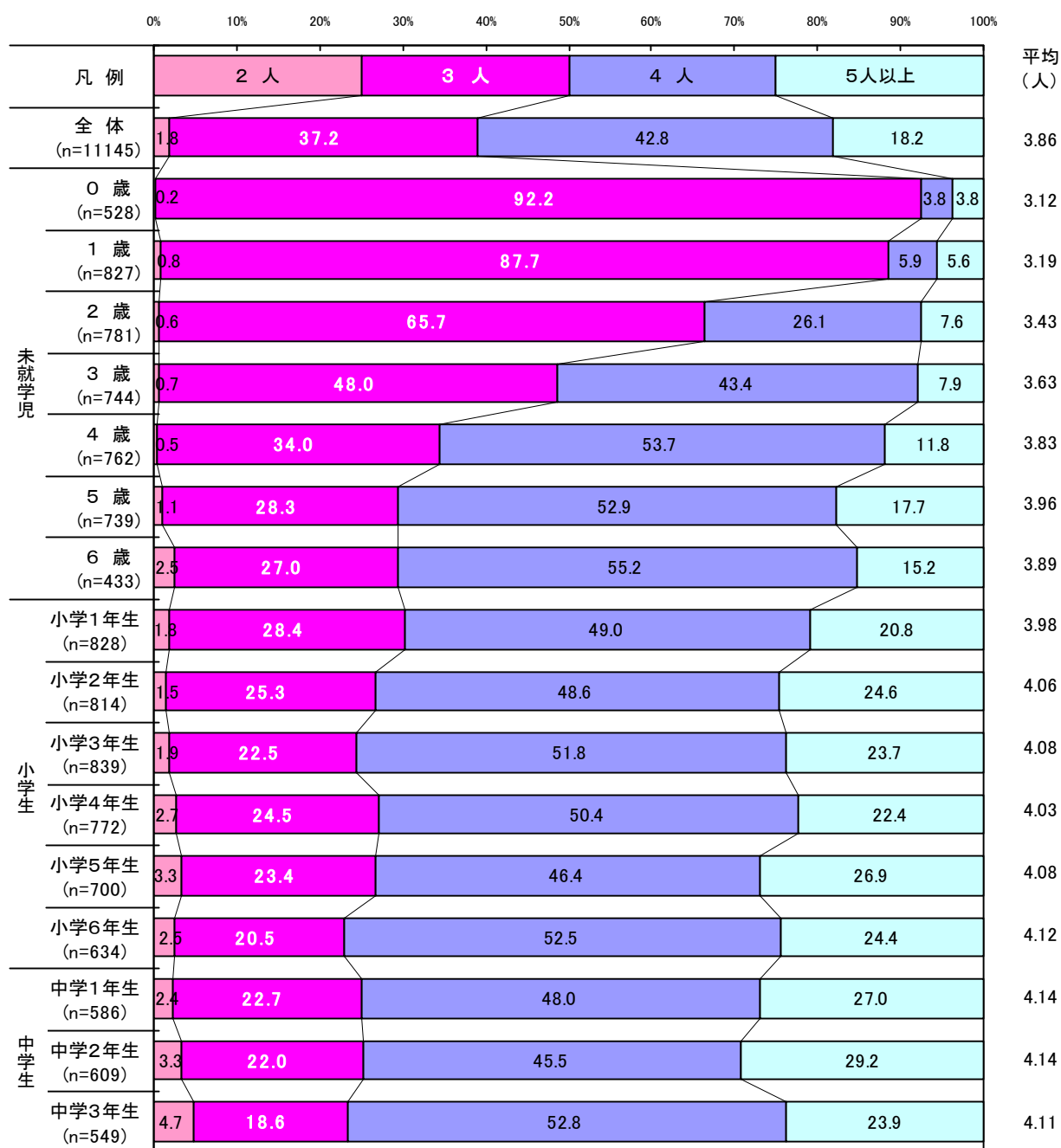
図表 3-5-2 . 現住居の所有者と住宅ローンの有無【第1子の年齢・学年別】



(6) 同居家族人数

- 同居家族人数は、全体では「4人」が4割強、「3人」が4割弱を占め、平均3.86人。
- 第1子が0～1歳の世帯では「3人」が8～9割を占めるが、3歳以上では「4人以上」が5割を超えるようになる。

図表3-6-1. 同居家族人数【第1子の年齢・学年別】



(7) 祖父母の同居状況

- 祖父母の同居状況は、全体では「祖父母と近居（1時間以上で行き来ができる範囲）」が5割で最多。次いで「祖父母とは遠く離れている」が約3割で続く。「祖父母と同居」は1割。
- 第1子の年齢・学年が高くなるにつれて、「祖父母と同居」の割合が微増。祖父母の高齢化が背景にあると思われる。

図表3-7-1. 祖父母の同居状況【第1子の年齢・学年別】



- 地域区別にみると、町・村は「祖父母と同居」が約2割を占め、他の地域より高い。
- 地域ブロック・大分類では、東北は「祖父母と同居」が2割を占め、他の地域に比べて突出している。次いで中部、四国、中国も1割を超えている。
- 地域ブロック・中分類では、北陸・甲信越、北関東も「祖父母と同居」の割合が高い。
- 一方、首都圏、京阪神は「祖父母と同居」の割合が低い。首都圏は「祖父母とは遠く離れている」割合が他の地域よりも高い。

図表 3-7-2 . 祖父母の同居状況【地域区分・地域ブロック別】

